

# 協働のまちづくりのルールブックをつくろう！



(仮称)廿日市市

## まちづくり基本条例 かわら版

第  
10  
号

平成23年3月

### (仮称)まちづくり基本条例検討市民委員会 第8回・第9回・第9回プラスワン会議 条例の『素案の内容検討』から『素案の完成』に向けてラストスパート！

条例素案は、その柱に「協働のまちづくりでめざす姿」「まちづくりの活動主体の関係と担う役割」「協働のまちづくりの仕組み（ルール・活動支援策）」をテーマとして設定し、話し合いを重ね、第7回会議（昨年12月6日開催）をもって一通りの検討が終わりました。

今年の1月からは、条例素案の完成に向けラストスパートです。まず、第8回会議（1月12日開催）では素案のたたき台を確認し、1月下旬から2月上旬にかけて市民ミーティングで意見交換を行いました（かわら版第9号既報）。第9回会議（2月7日開催）と第9回プラスワン会議（2月26日開催）では、市民ミーティングで寄せられた意見をもとに、素案の最終調整を行いました。

#### 市民委員会第8回会議の様子

と き：1月12日(水)  
午後7時～9時30分  
ところ：廿日市市役所 7階会議室  
内 容：話し合い

● 第6回・第7回会議の  
まとめを確認しました  
「協働のまちづくりの仕  
組み(ルール・活動支援策)」  
のまとめについて、「人材育

成」「地域特性を生かした連携のあり方」「信頼関係づくり」「評価のあり方」の四つのテーマ別グループに分かれて確認しました。

これで、「めざす姿」「役割・関係」「仕組み」のまとめがそろったので、これに委員長のあいさつを加えて、条例素案のたたき台とも言うべき原案ができ上がりました。

#### ● 素案原案のトーンを全体で整えました

全員で素案原案全体を通してながめ、表現や言葉の調子などが統一しているかどうかを確認しました。地域ごとの実態の違いから地縁系活動団体の名称をどう表現するのが適切か、また「、」と「・」の使い分けや、用語の正しい使い方などについて、修正意見が出されました。

#### ● 市民ミーティングの準備をしました

市民ミーティングにおける素案原案の説明について、まず、事務局が画像を用いてプレゼンテーションを行い、全員で内容を確認しました。その後、担当する会場別のグループに分かれて、説明用資料の内容確認と各会場における進め方について打ち合わせを行いました。

市民ミーティングにのぞむ、市民委員の意気込みを、  
紹介します。

#### 感想

- ・この委員会の思いを十分に伝えるよう頑張りましょう。
- ・多くの人にまちづくり基本条例について知ってもらおう！
- ・地域が一体化できるようなまちづくりを！

#### 条例素案の完成まで（平成22年度）

H22.6.19

基礎学習（市民委員会第1回会議）

H22.7.6

基礎学習（キックオフシンポジウム）

H22.7～12月

内容検討（市民委員会第2～7回会議）

H23.1.12

まとめ（市民委員会第8回会議）

H23.1.25～2.4

意見交換（市民ミーティング）

H23.2.7・2.26

まとめ（市民委員会第9回・同プラスワン会議）

H23.3.7

まとめ（市民委員会第10回会議）

素案完成



## 市民委員会第9回会議の様子

と き：2月7日(月)  
午後7時～9時15分  
ところ：廿日市市役所 7階会議室  
内 容：話し合い

### ● 市民ミーティングの意見を共有しました

1月下旬から2月上旬にかけて五つの地域で開催した市民ミーティングの状況について、参加した職員から報告し、主な意見をみんなで共有しました。

### ● 市民ミーティングの意見への対応を考えました

続いて、市民ミーティングで担当した会場別のグループに分かれ、寄せられた多数の意見についての市民委員会の考え方を、話し合い、対応を整理しました。

条例の素案に反映すべきものの選択を中心に、5段階に意見を振り分けました。

対応の区分は、

- A「意見を反映し、原案を修正する」
- B「既に原案で対応している」
- C「案の修正はしないが、実施段階（条文化・取り組み検討）で参考にする」
- D「意見を反映しない」 E「その他」です。

結果は、B対応あるいはC対応が多くなりましたが、A対応とした意見もあり、素案に盛り込むことを確認しました。



### 感想

これまでの会議や市民ミーティングについての感想を紹介します。

- ・多岐にわたり、多くの議論ができたと思います。
- ・市民ミーティングでは、多くの貴重な意見をいただきました。今日は、そのエッセンスが共有できました。
- ・様々な人の意見を反映させることは、難しいと感じました。

市民委員会事務局から。。。

- ◇ この市民委員会は、3月7日(月)の第10回会議をもって終了します。委員の皆さんには、もうひと踏ん張りをお願いします。
- ◇ 条例づくりは、4月からいよいよ条文化の作業に入ります。条例のイメージがますますわいてきますヨ。

## 市民委員会第9回プラスワン会議の様子

と き：2月26日(土)  
午前9時30分～午後0時5分  
ところ：廿日市市役所 7階会議室  
内 容：話し合い

### ● 市民ミーティングの意見を反映し、修正文案を作りました

第9回会議で終えることができなかった対応の検討と、素案原案の修正文案を作成するために、プラスワン会議を行いました。

前回会議と同じグループで市民ミーティング意見への対応を最終確認した後、テーマ別グループで「A対応」とした意見について、素案原案の修正文案を作る作業を行いました。その主な内容は。。。

#### 【めざす姿】

- ・「住んでよかった」「誇りを持てる」という言葉を盛り込む。

#### 【活動主体の担う役割】

- ・「みんなが参加」という意味で「子どもから大人まで」という言葉を盛り込む。
- ・企業による雇用や納税を「企業活動」と表現する。
- ・大学の役割に「地域貢献」という言葉を盛り込む。

#### 【人材育成】

- ・「仕組み」の具体策に、つぎの点を加える。
- ・30・40・50代（中堅世代）の参加の促進
- ・知識、技能などの活用による地域活動への参加

#### 【地域特性を生かした連携のあり方】

- ・「役割・関係」において、市外の人も踏まえた多様な主体となるよう、「市内・市外にかかわらず」を加える。

#### 【その他】

- ・条例に望むこととして、つぎの内容を盛り込む。
- ・かた苦しくない名称や分かりやすい条文にする。
- ・作っただけにしない。
- ・啓発のための勉強会の開催やパンフレットを作る。
- ・進行管理を行い、公表する。
- ・時代に合わせて見直しを行う。
- ・具体策の検討や進行管理、見直しを行う委員会をつくる。

### 感想

プラスワン会議を終えての市民委員の気持ちを紹介します。

- ・（意見の）言葉に込められた思いをどれだけ汲みとることができたか不安です。
- ・いい素案ができそうな気がしてきました。